

# 世界人形行脚記 (五)

—(世界教育大會より歸りて)—

フレイベル館社長 高 市 次 郎

## ▽英國の避暑地△

いそがしい旅ながら、倫敦の古い寺院、博物館、寶殿、天文臺を見物したうちに、ブライトン海水浴場にいつたことも昨今の暑さに思ひ出したので茲に記して置ませう。

ロンドンから約三十マイルを隔てたブライトンは海水浴場として誠によい所です。

一體、歐米の海水浴場は何れも遊び道具が頗る多數に用意されてゐて、人々はみなこれ等遊び道具によつて嬉戲してゐます。米國でも大きい海水浴場を二箇所ばかり訪れてみました、海岸から海中へ棧橋の如く出てゐる所が凡そ二哩ぐらゐの距離をへだてゝ出來てゐます。その間に、そ

れはく大仕掛な遊び道具が設けられてゐるのは、たしかに私たちには驚異すべき光景でありました。何れも有料であつて、それこそ随分奇抜なものがあります。運動的なもの、ゲーム的なもの、力わざ的なもの、おみくじをひくやうなもの、乃至は所謂エロ的なものにといたる迄、實に規模悠大にして多種多様で、數ふるに邊がない。米國コニーアイランドの海水浴の如き、斯うした大規模の設備ある海岸に多數の人々が群れ楽しんでゐます。

私が此のコニーアイランドを訪れた時など、約百萬人を突破するといふ素晴らしい人。これ等の人の飲食する店もならんでゐるし、日本人で斯うした遊び道具のゲームに對する賞品を買ふ店が米國には相應に多い。

ところで英國のブライトン海水浴場には、米國のやうな大きい建造物的な——假例へば空中遙かに高くたかく大圈を描いて悠々廻轉する展望車とか、インクラインとか、人の肚膽をひしぐほどの大仕掛なものは見當らないが、やはり、遊び道具は何百種となく備へられてゐます。一ペンスを投ずると、二尺四方ほどの舞臺の戸が開いて、時事的なことや、歴史、漫畫等を、面白おかしく人形が演つてゐるまた、おかねを入れると玩具が出てくる仕掛けのものや、近頃我が國にも見られる起重機でお菓子や鶏卵を採り上げる仕掛の如きものが澤山あります。私も是等の多様の遊び道具を一々やつてみました。その種類の多いには全く閉口して中止してしまいました。英國の子供たちも他國の子供と同様、私が次ぎつぎと、是等の遊びを實驗してゆくと、あとからあとから雲集して来て私と共に見物してゐる。斯く、英國に於いてもその機構の壯大な點に於いて米國に及ばぬ乍ら、その海水浴場に於ける遊び道具の設備の大き掛りに、而も到れり盡せりに多種多様に設備してゐる所は米國のそれと同様、驚くばかりであります。

此のブライトンの海水浴場は、海岸の風致も至極よろしく、一方は美しい建築のホテルが並び、海岸側は緑の美しい芝地（ローン）で花壇になつて居り、道路がアスファルトで坦々として清々しく、所々に池があり、子供の遊び場としては誠に申し分ない。然し、あの、我が國固有の海岸美、白砂青松の風趣はもとめられない。

以上の外に、倫敦市中に、頗る大きいプールがあり、何れも入場料を拂つてはいるのでありますが、スタンドは二段に周圍に並び、普通觀覽者は此のスタンドで冷い飲料に喝を癒し乍ら、下方に見ゆる廣いひろいプールに、とび込んで泳ぎ乍ら嬉戲する男女の客を觀るのである。纏て客は二組に分れてウォーターポールをはじめる。時には怒濤澎湃と云つたやうに、ウォーターの仕掛けで、大浪が寄せてはかへし、寄せてはかへし、渾に打ち上げて白い飛沫が散り、恰も自然の海岸に於ける落と同様の状態となり、男女とも嬉々として此の大浪を乗り潜つて泳いでゐます。

避暑地のはなしは此の邊で筆を擱きますが、兎に角、米國も英國も海水浴場には有料興行物が澤山にあり、浴客も

我が鎌倉あたりよりも約百倍の人で海岸を埋めつくす。これ等の人々は何れも自動車でやつて来てゐます。

さて、愈々佛蘭西に向ふのですが、英國のフォークストン港を出發したのが朝の八時。船はドヴァ海峡を佛國のブーロンに入港、それより汽車で一路巴里へ、巴里着同日午後四時。

### ▽佛國の過去の人形△

フランス人形！ 佛蘭西はお人形の國、それこそよい人形がある。

佛國に於ける人形の製作は獨逸よりも夙にはやく、随つてその製作技術も優れたものでありました。頭は瀬戸で拵へ、眼球は硝子をもつて巧みに實際を模し、所謂フランス式眼球と呼ばれた程に、誠によい目が出来る。顔面の表情もまことに精巧で衣裳も整つてゐて、またなく麗はしい。過去は、世界でも佛國が一番よいお人形の製産地として知られてゐました。随つて、その價格も頗る高價でした。その爲めに誠によいお人形ではあつたが、販路は展げなかつ

たのです。

此處に眼をつけたのは獨逸であります。

獨逸の人形師は鋭意、佛國のお人形にならつて、眼球も獨逸式に安く而も良い眼を作り、顔の表情を巧みにして、價格も思ひ切つた低價で世界に販路を求めたもので、爾來獨逸人形は各地に見られるやうになりました。茲に鳥渡申添へたいのは、嘗て本誌三月號にも記しました通り、よいお人形の顔は必ず瀬戸で出来てゐることあります。

さて、以上のやうな知識をもつて渡佛した私は、實際に彼の地を踐むに至つて、全く失望してしまいました、即ち前に述べたやうな所謂フランス人形は巴里に於ける有名なデパートを訪ねたが一つも見當らないのでした。いかほど尋ねても、もう過去の所謂フランス人形なるものは無いのであります。掘り出し物をさがすやうにして辛ふじて一二デパートからさがし出して買った二三のものがありますが、これこそ、實に過去の所謂フランス人形と云はれた尊いものでありました。高さ一尺二三寸、手には革手套をはめ、衣裳も四五枚を重ねて着附も正しく、美しい絹ストツキン

グに革靴をはき、羅紗の帽子を冠つた實に精巧なものであります。

但し、これ等のフランス人形は、時代の推移、好尚の變化等から觀はなされて

あはれそのデパートの倉庫の隅に過去の榮華を顧みて泣きぬれてゐたのです。ですからそのデパートでは全く賣りものにならない品でありました。精巧な衣裳もあはれに古びてゐました。

是等のよいお人形の瀬戸の頭は價が極めて高いばかりでなく、毀れ易いのが大なる缺點で賣れなくなつて了つたのです。

### ▽佛國現代の人形△

前項の如き缺點から、近頃では何れも安く而も丈夫なものが出來てゐます。頭も布で包



寫眞説明——現代の佛蘭西人形。顔面は布目の細かいジョーゼットその他羅紗、フェルト等で作られた丈夫にして軽い人形、眼は何れもかき入れたもの、皮膚の所は實際の子供の筋肉のやうに柔軟で反撥力がある。

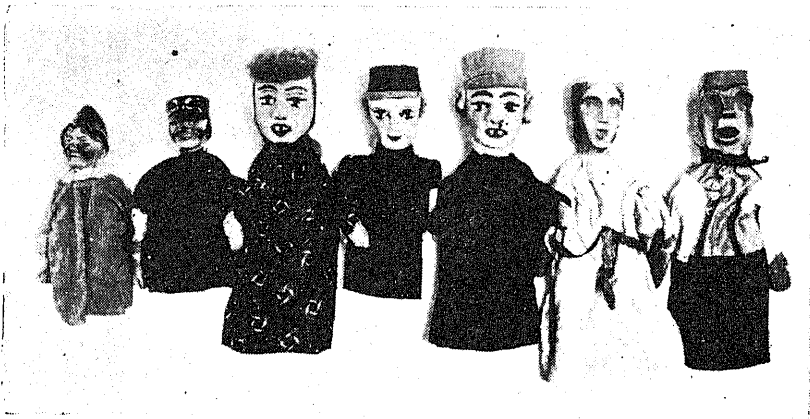
い。茲に掲げた寫眞は即ち現代のフランス人形で、頭部顔

の内部分に肉體ほどの柔軟さで、而かも筋肉の如く弾力を帯びてゐるなど、實に巧みに出來てゐます。これ等は現代佛蘭西人形の特徴の一つに擧げられませう。そして何れも表情が巧みであつて、眼は従前の如く硝子を使用したものは殆んどな

面は前に述べた如く、衣裳は何れも羅紗で、缺けたり壞れたりする心配は少しもありません。

### ▽フランスのギニョール△

佛國では、現今も益々指にはめて踊らせる人形、——ギニョールが盛んであつて、諸所に賣られてゐます。巴里のシャンゼリゼエの大通りのマロニエの並木の下に、小さい家を据えて、毎日午後三時頃から、お爺さんがギニョールを踊らせて子供に見せてゐるのを見かけました。舞臺といふのは、一間四方のもの、此のお爺さんは特に許されてゐるものと見えて、他に此の様なものを見かけませんでした



で部頭の彫木は個二の方右、ルーヨニギの西蘭佛——明説眞寫に彫木し屬に代次のそは個三の央中、のもの代時い古的較比方左、品作なウテクエフエたし彩賦を面顔で料塗き如の粉胡のもしリネは部頭でルーヨニギ國佛の代現はつ二の

が、それはそれは佛蘭西の子供達も面白くいつまでも見てゐます。

そのギニョールの佛蘭西獨特のものは茲に掲げました寫眞で、右の方の二つは本彫の顔で、それこそ藝術味豊かなもの、比較的古いものであり、中央の二つはその時代に専ら流行したギニョールであります。その簡単な顔の構造と扮らへなぞ、一定の距離をとつてみると、いかにも効果的なもので、その製作の巧みさには誠に感激に堪えません。その左の方のもの二つは現在行はれてゐるもので、頭は練り物の硬いもので、顔なぞ甚だしく寫實的になつてゐる所など見逃し難い所であります。

### ▽佛蘭西の童畫家△

英國に於いて、キンダーブックへ毎號揮毫を依頼したヘレン・ジャコブス女史の如き畫家を佛國に求めることも、私がこの度の旅行に加へて置いた、仕事の一つでありました。英國と同じやうに巴里でも随分苦心して搜したもので、先づ手とりばやく、佛蘭西の繪本から物色しました。先づ巴里隨一の大きい教科書店 Librairie Hachette を訪ねました。その御主人はもう六十歳ほどのお婆あさんで、私と對談してゐるうちにも頻々として電語がかゝつて来て、一々そのお婆あさんが應對する、また、下僚の人が決裁を仰ぐ書類を持つてやつて来る、それはそれは目まぐるしい程に忙しいが、何れもテキパキと處理して、また、私と對談する、その事務的な點は誠に驚くばかり。此のお婆あさんが、「左様で御座います」といふ *Ani, Ani* の強う語調が、まだ私の耳に残つてゐます。それほど忙しい、而も憂樂たるものでありました。

一體、佛蘭西は美術の國、而もその繪畫は世界的に有名であり、従つて、いくらでも良い童畫家があると思ふと、案外さうでない。佛國の畫家といふ畫家は、何れも現近一流に評價されてゐるマチス・セザンヌ・ピカソ、乃至ルオー

とかいふ人達のあとを、只管に精進して純正美術的繪畫の製作に奔命してゐるので、童畫は殆んど畫いてゐません。出版物の子供の繪を畫くのは主として英國畫家であると思つて、實に呆然たらざるを得ないのでした。

幸に佛國純粹の童畫家で、自他相ともに許す優秀作家としてフェリックス・ロリウ氏 (*Monsieur Felix Lortion*) を日本のキンダーブックの爲めに推奨するといふことで、いろくその作品を觀ても面白く思はれたので、今後をキンダーブックの爲めに揮毫を依頼して歸へりました。キンダーブック誌上、度々これまでに出したから最早やお馴染の方もありませう。巴里は流石美術の都、藝術の殿堂だけに各國の藝術研究の人々が多く、我が國でも殆んど美術、音樂の方面の方々二百餘名も留學してゐるとのことでした。

佛蘭西は遊覽客の多いことは、世界第一で、クツク社の *Sight seen Car* 毎朝何十臺といふほど、各國語別に出ます。従つてお土産として出来てゐるものが巴里には澤山あり、町と町にはお土産屋が軒を並べてゐるのも見逃がせない事であります。